(桜川市行政評価システム) 記入年月日 の実績評価) 令和 4年度 事務事業評価表 ( 令和 3年度 月 事業区分 事務事業名 山桜保全事業 新規/継続 継続 事務事業No. 040304001030 政策体系上の位置付け 025101 単独/補助 補助 所属課 総合計画の施策名 O4O3 観光の振興 ヤマザクラ課 O4 活力ある産業のまちづくり 課長名 ヤマザクラグループ 施策名 03 観光の振興 グルー 04 4ヤマザクラを生かした観光振興 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 誀 事業 一般会計 単年度繰返し ( 平成30 年度~) 細 予算科目 01 02 01 18 01 00 ヤマザクラの里づくり事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 | 桜川市山桜保全活用委員会設置要綱 事務事業の現状把握(その1)  $(D_0)$ (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、平成31年2月 20日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理 (1) 名勝・天然記念物のサクラの保全(2) 里山の保全(3) 人材の 育成の基本方針に基づき、(仮)山桜保全活用委員会の設置運営事務、 や山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進める。 山桜苗木育成圃場管理、文化財保存(天然記念物のサクラ)に関する業 務を行う。<br/> 段 指標値の推移 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 02年度 04年度 05年度 03年度 06年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 山桜保全活用委員会の開催回数 0.00100 1.00 1.00 1.00 桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 (仮) 山桜保全活用委員会の設置運営事 0,00 0.00 0.00 0.000,00 務(令和2年度~) • 山桜苗木育成圃場管理 0.000.000.000.000.00• 文化財保存(天然記念物「桜川のサク う」) に関する業務 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 05年度 06年度 04年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 桜川市の人口 人 39,122.00 38,422.00 37,852.00 37,282.00 36,712.00 市民 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.00∩2年度 04年度 05年度 06年度 0.3年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 山桜後継樹育成本数(高峯・雨巻・磯 300.00 本 175.00 250.00 300.00 300.00 山桜と自然環境の保全を通じて、地域の課 題解決につなげ、「ヤマザクラと市民の幸 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 せが咲くまち桜川」を実現する。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 千円 0  $\cap$ 152 県支出金 千円 0 事 源 地方債 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$ 投 使用料・手数料 千円 0 C 訳 その他 千円 2,921 O 3,000 宇宙 -般財源 4,967 4,839 6 事業費計(A) 千円 2,927 5,119 7,839 4.00人 4.00人 4.00人 正規職員従事人数 量

5,119

07 報償費

10 需用費

12 委託料

13 使用料及び賃借料

08 旅費

O4年度事業費 予算(千円)

合

計

7,839

859

119

106

6.038

03年度事業費 実績(千円)

16

20

106

合

計

4,950

O7 報償費

10 需用費

12 委託料

13 使用料及び賃借料

08 旅費

の内訳

*******	\ <del></del> \	**************************************		
事務事業名 山桜保全		事務事業№ 40304001030 台されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう	所属課 ヤマザクラ課 ヤマナクラ課 ウィナのか2	
		」を推進し、山桜の保全管理や山桜文化の醸成など、 「		
		言関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?		
(1)名勝・天然記念物のサクラの保全:地域資源を大切に守っていこうとする市民や保全団体の継続的な支援活動の実施。(2)里山の保全:市内 行政区、保全団体、企業等の山桜植樹活動の実施。(3)人材の育成:小学校児童対象の山桜学習会や山桜苗木育成体験活動の実施。				
【See】 2. 評価の部 * 8	<b>見りは事前評価。</b>	- T		
評価項目 ①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)				
現 (結びついている) 桜	ジ川市第2次総合計画と整合が取れ	ており、市の政策体系に結びついている。		
維②公共関与の妥当性 (なぜこ	この事業を市が行わなければならないの	か?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業は	 その名称)	
持 妥当である 「	「ヤマザクラと市民の幸せが咲くま	ち桜川」を実現するため、妥当である。		
③ 成果の向上余地 (成果を向	)上させる余地はあるか?成果の現状水	準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が	朝待できないのか?)	
	別市ヤマザクラ保全活用計画の方 5含め進めていく。	針に基づき、(仮)桜川市山桜保全活用委員会の意見	も伺いながら、事業内容等の見直し	
④廃止・休止の成果への影響	(事務事業を廃止・休止した場合の影	※響の有無とその内容は?)		
有 効 影響有 性	X川市ヤマザクラ保全活用計画に示	す各事業においても影響がある。		
⑤類似事業との統廃合・連携の				
	山桜苗木移植場所の確保や里山整備(農林課事業等で行った森林整備後の活用連携)、文化財保存活用計画の作成(文化財担当課との連携)などが考えられるが全てを統廃合することはできない。			
□ ⑤事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)				
率 性  削減余地がない   最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。				
平				
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)				
(1) 1次評価者としての評価組	<u> </u>	(2) 全体総括(振り返り、反省点)   平成31年2月20日に策定された「桜川市ヤマザクラ・	      全活用計画  の進捗としては	
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 ■ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>	10/5に山桜保全活用表員会を行い、計画の進捗管理 天然記念物桜川のサクラの現状変更(土壌調査、及び 文化庁からの許可のもと計20本の調査・改良に着手	を行った。名勝桜川(サクラ)及び 改良)については文化財課と連携し	
(3) 今後の事業の方向性 (4) 改革・改善による期待成果				
□ 終了 ■ 継続	□ 改革改善を行う □		(終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
□ 廃止 □ 休止	■ 現状維持		削減 維持 増加	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
			成果持低下	
			(6) 市效声光原生产于压住中	
			(6)事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項				
(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
課長確認後の評価  A:継続(現状維持)  C:終了、廃止、休止  R・機・(カギカギを行う)  C:終了、廃止、休止				
│	を行う) D:2次評価へ提出			